

科目名	コミュニティビジネス論	科目分類	□専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			学科	□必修 □選択
英文表記	Community Business	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	にしまき じょうじ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	西巻 丈児	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	<p>地域（コミュニティ）の住民が主体となる「コミュニティビジネス」は、地域住民が地域の抱える課題を解決するための方法として注目されているビジネスの形態である。地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するものである。</p> <p>近年期待されているコミュニティビジネスの意義を捉え、実際のさまざまな事例を調査・分析することにより、その現代的な意味を考えられるようになる。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティにおける課題や、課題解決のためのビジネスの意味と意義を説明できる。 ・地域経済に好影響を及ぼすコミュニティビジネスが、実際に地域に与えた効果や、類似する地域課題を抱える他の地域へのヒントとなるポイントを説明できる。 			
授業概要	<p>「地域住民」が主体となるコミュニティビジネスの概念を明らかにし、日本や諸外国の事例を通して、要請されてくる地域経済・社会の背景、ならびにその展開過程を学ぶ。そして、日本におけるさまざまな事例を調査・発表することによって、その可能性を探っていく。</p>			
授業計画				
第1回	イントロダクション：「コミュニティビジネス」とは何か			
第2回	コミュニティビジネスの基本事項			
第3回	コミュニティビジネスと世界の事例			
第4回	コミュニティビジネスと日本の事例			
第5回	コミュニティビジネスに期待される機能・役割			
第6回	「地域産業活性化型」コミュニティビジネスの調査・分析 ー秋田との関連をふまえてー			
第7回	「社会参加促進型」コミュニティビジネスの調査・分析			
第8回	「地域の魅力向上型」コミュニティビジネスの調査・分析			
第9回	「健康・高齢者生活支援サービス分野」のコミュニティビジネスの調査・分析			
第10回	「地域資源活用」コミュニティビジネスの調査・分析			
第11回	「まちづくり推進」コミュニティビジネスの調査・分析			
第12回	「子育て支援」コミュニティビジネスの調査・分析			
第13回	調査・分析から見えてくるもの(1)			
第14回	調査・分析から見えてくるもの(2)			
第15回	総括			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	<p>予習：(1.5時間程度) コミュニティビジネスに関連する機関・文献・ウェブサイトを授業内で紹介するので、最新のそれらの事例を調査し、自分なりに分析しておくこと。</p> <p>復習：(1.5時間程度) ① 授業を振り返って内容を整理する。 ② 理解できていない事柄を、次の授業で適確に質問できるよう用意する。</p>			
履修条件	受講生には、調査・発表が義務づけられる。			

受講のルール	
テキスト	テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。
参考文献・資料	授業内で適宜指示する。
成績評価の方法	毎回提出してもらいアクションペーパーによる理解度（20%）、調査・発表とその内容（30%）、定期試験（50%）を総合的に評価する。 出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができない。 また、欠席、遅刻、私語、居眠り、無断退出等については減点の対象とする。
オフィスアワー	
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	書籍やニュース等においても「コミュニティビジネス」の諸事例が様々紹介されているので、積極的に具体例を調べること。